

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2018年2月13日

東京大学での所属学部・研究科等:	工学系研究科	学年(プログラム開始時):	修士1
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	エル・コレヒオ・デ・メヒコ
卒業・修了後の就職(希望)先:			
	1. 研究職		2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
	3. 公務員		4. 非営利団体
	✓ 5. 民間企業(業界: 建設)		6. 起業
	7. その他()		

派遣先大学の概要

留学先は「エル・コレヒオ・デ・メヒコ」という大学院大学でした。メキシコシティの南部に位置する小規模な人文系大学で、7つの「センター」(アジア・アフリカ学センター、人口・都市・環境学センター、経済学センター、歴史学センター、国際学センター、言語・文学センター、社会学センター)からなります。修士課程では、各センターで2年に一度20~30人を受け入れており、政府関係機関等で就労経験のある20代後半から30代前半の学生たちがメキシコ各地から集まります。

留学した動機

メキシコシティを対象とした研究を行いたかったため、バックグラウンドなどを勉強し、また調査等を進めるために留学しました。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2017年	修士1	年生の	夏	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2017年	8月~	2017年	12月	
	修士1	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2018年	修士2	年生の	夏	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2018年	修士1	年生の	2月頃に	行う予定
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位			14	単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			不明	単位
	留学後の取得(予定)単位			不明	単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2017年	4月入学	2019年	3月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	2年		0ヶ月間		

⑨留学時期を決めた理由:

就職活動と被らず、また東京大学でしばらく勉強してから行けるから。

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

留学先から受け入れ通知がなかなか届かず、メール、フェイスブック、指導を希望する教員への連絡などを行いました。結果、渡航ギリギリで通知が届き、渡航の準備は先に行っていたため、問題なく留学できました。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

観光ビザで十分でした。180日までであれば、手続きなしで滞在できます。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

特になし。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

大学の指定する保険に入りました。結果としては、使うことはありませんでした。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

特別なことはなかったように思います。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

以前に一度、一年間滞在していたのである程度は事前に準備できていました。議論できるレベルのスペイン語が必要になります。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

研究計画をできるだけ具体的にしておく。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Agentes sociales y estructura urbana	不明	●			
Economia politica urbana	不明	●			

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

予習として各授業で毎週100ページ程度の論文や書籍を読まされました。言葉が違うこともあり、授業では発表と議論が主で、課された内容をすでに理解していないと議論についていけないと感じました。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

2コマ(各3時間)を履修していました。1週間をほぼほぼ予習に使い切っていたような印象です。

④学習・研究面でのアドバイス

授業のための予習が多く、授業を受けていると研究に手がつかなくなると思います。ちなみに、メキシコでは卒業後に研究を行うことが普通で、授業を受けながら研究を行う余裕は与えてくれません。

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

各授業での関係する論文を読み、専門的な単語を理解しておくことで授業中の議論にスムーズに入りやすくなると感じました。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

Facebookで募集している人(知人ではない)を探し、寝室を借りました。場所は郊外で、月2600ペソ支払っていました。郊外に立地していた分、安く済みました。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

慣れていれば交通機関は町中に通っているので困りません。渋滞によって時間がかかってしまうことは問題ですが、終電・終バス後の移動はUberが一般的です。日本人の感覚からするとタクシーも安いので、頻繁に使うことができます。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

治安が悪いというイメージがあるかと思いますが、普通に生活していれば何も起こらないと思います。私は合計一年半メキシコにいますが、被害にあったことはありません。見るからに観光客、住んでるけど観光客っぽい人は狙われるのかもしれませんが。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

住居 2600ペソ
食費 4000ペソ
交通費 600ペソ
書籍代・印刷費 500ペソ他

・留学に要した費用総額とその内訳

航空券 22万円
生活費 30万円
保険 3万円

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

JASSO奨学金。全学交換留学であれば少ない手続きで使える奨学金で、メキシコでは月6万円が支給される。東大のサイトに載っている。

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

課外活動として伝統音楽のドキュメンタリー制作を行っていた。大学では、クラスメートらとサッカーやバレーボールなどをしていた。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

授業システムが必修だけで構成されており、外からの人が入りにくくなっているという欠点がある。学位取得の学生は全員全学期の内容を共有していて、それを前提に授業が行われる。逆に、「この内容は次の学期だね」というようにして飛ばされることもある。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

学食が激安で、質も高い。図書館の蔵書数が多く、施設も充実しているので重宝する。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

インターンには参加できていない。結果を見ないとメリット・デメリットどちらが大きかったのわかりません。

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

好きで留学しているだけなので以前は考えていなかったが、本格的に就職を考えると、自分の強みは結局留学したことにあるのかもしれないからそれを活かすべきなのかもしれないと思った。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

特になし

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- | | |
|--|--------------------------|
| | 1. 研究職 |
| | 2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) |
| | 3. 公的機関(機関名:) |
| | 4. 非営利団体(団体名又は分野:) |
| | 5. 民間企業(企業名又は業界:) |
| | 6. 起業(分野:) |
| | 7. その他() |

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

国内最高峰の大学にいられたおかげで、メキシコの中でも選りすぐりの人たちと時間をともにすることができ、国自体を見直したし希望を抱けた。

②留学後の予定

とりあえずは就職活動に取り組み、並行して研究も進めていきます。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

お金がないから留学しないというのはあり得ないと思っています。むしろ留学すると奨学金をもらえて、場所によっては物価も安いので、日本にいるよりも生活が豊かになります。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。